



ニュースで様々な人が様々なことを述べていますのでちょっと混乱気味なのですが、今のところ最も信頼が置けると思われる吉本興業のリリースを見ると、こんな状態だったそうです。

徳井氏は個人会社として株式会社チューリップを2009年に設立しました。役員は徳井氏一人だけであり、タレント活動に基づく収入はすべてこのチューリップ社に入れ、徳井氏はチューリップ社から役員報酬を受ける形をとっていたそうです。このチューリップ社、2010年3月期から2015年3月期については、毎年申告期限内に申告をしておらず、税務署からの指摘を受けて数年分をまとめて申告していたそうです。

しかしその税金の納付については、再三にわたる税務署からの督促にもかかわらず納付をしなかったため、銀行預金を差し押さえられています。

このように度重なる申告漏れや未納があったため、チューリップ社は2018年9月頃に再び国税局の税務調査を受け、2016年3月期乃至2018年3月期の3年分については無申告との指摘を受けました。

また同時に、既に申告した2012年3月期乃至2015年3月期の税務申告において経費として計上していた旅費、衣服代等の一部が否認されています。

この結果、新聞報道などの通り、申告漏れとなった金額は1億2,000万円、追徴課税は3,400万円といった大きな金額になっています。もちろん、ここには最大20%の無申告加算税や、金利に当たる延滞税、ひょっとしたら悪質性の高い脱税に適用される、最大40%の重加算税が含まれていませんので、もっと多額の支払いを求められるはずです。

CMや番組の中止による違約金も発生するでしょうから、本人にとっては重大な危機といえるかもしれません。

この事件、経緯を見ていると「法人を作ったのに、そもそも最初から申告や納税をする気がゼロだったのではないか」「税理士はきちんとかかわってないのではないか」という様々な疑問がわきます。

その中で、私は一つ「国税の思惑」についてお話しておきたいと思います。

国会議員や官僚、また弁護士や会計士といった一般によく知られた、注目されやすい業種で痴漢や飲酒運転などの疑いが出ると、警察はマスコミにリークするとよく言われます。

これにはマスコミへのネタ提供による恩売り、一般人への見せしめなどいろいろな理由があるといわれていますが、これは国税についても同様です。

今回の事件、無申告や経費計上の問題でニュースになり、本人が謝罪、活動自粛に追い込まれる話題や画像が繰り返し流されることで、一般の皆さんには「国税怖い」「脱税ダメ」といった印象が刷り込まれるわけです。

もう一つは旅費や衣服代などといった経費がことごとく否認されている点です。

何人かの方も述べていますが、否認された経費は通常なら全く問題なく通せた可能性が高いものばかりです。

この点、無申告・滞納の論点があまりに重大なので、おそらくですが逮捕や起訴を猶予(しないとは言っていないはず)するなどの交換条件ですべて認めさせられたものと推測しています。

皆さんもご存じかと思いますが、国税はこういうディールをよくやります。

そもそも、きちんとした税理士が緻密な準備のもとに税金対策したものは、簡単にひっくりかえせないだけでなく国税側もありがたいものなのです。おそらく徳井氏は、まともな税理士を使っていなかったか、関係が悪化して頼めていなかったのではないのでしょうか。

ここにいらっしゃる皆さんはこのような事件とは対極にある経営をなさっていると思いますので、こんなニュースは反面教師にもならないかもしれませんが、詳しい話が分かればまたお話し致します。

以上会長の時間を終わります。

### 3. 委員会報告

◎米山奨学委員会 岡野 秀章 カウンセラー

10月27日(土)に2660地区米山奨学生レクリエーションイベントで、宝塚歌劇月組「I AM FROM AUSTRIA」を奨学生のゴー・チュン・タン君と一緒に観劇してきました。出演者がすべて女性で観客もほとんど女性であるというような、日本独自のミュージカルに、タン君も驚きつつ感動していました。観劇会後の懇親会では、堪能な日本語でスピーチも無事こなすことができました。3年生のうちに単位をすべて揃えられるよう頑張っているとのことでした。

#### 4. ニコニコ報告 小島 常男 親睦委員

塩尻 会員……11月1日より税理士法人を設立、来年にかけて3拠点15名の事務所となります。

松谷 会員……中西さん ありがとうございます。

岡本(真) 会員……バリ島支援ではお世話になりました。来月11日に帰国報告させていただきます。

山川 会員……10月23日心齋橋ロータリークラブとの合同ゴルフコンペがありました。参加いただいた澤田会員、松谷会員、塩尻会長、甚田幹事どうもありがとうございました。

甚田、栗原、中村、岩崎、片岡、岡本(茂)、新川、小島、俣野、岡野、清水、小山、原山、北野、宮原、吉本、平山、松永、伊藤、

各会員……祝！タイガーウッズ優勝！

#### 5. 出席報告 岡野 秀章 副SAA

会員総数 34名 出席率計算会員数 33名 出席会員数 27名 出席率 82%

第1379回(10月7日) 修正出席率 91%

#### 6. 卓 話

◎ 「入会候補者向けプレゼン」 会員増強委員会 岡野 秀章 委員



体験例会にお越しいただいた皆様へ

親睦と奉仕を柱として活動する、大阪船場ロータリークラブの体験例会に、ようこそお越しいただきました。

当クラブは30人規模で、幅広い年代のメンバーで構成されています。

ぜひ加入いただきまずは会員と親睦を深めて、自分がやりたい奉仕活動を見つけ一緒に活動しましょう！

◎ 地区米山奨学委員会 清水 清一 委員



皆様、日頃よりロータリー米山記念奨学事業にご理解、ご協力頂きまして誠にありがとうございます。また、一昨年には財団設立 50 周年を迎える事が出来ました事、心より感謝申し上げます。

終戦翌年の 1946 年“日本のロータリーの父”米山梅吉が亡くなり、3 年後の 1949 年、戦争のため解散を余儀なくされた日本のロータリーが国際ロータリーへ復帰します。戦後、落ち着きを取り戻すにつれ、米山梅吉氏の功績を永遠に偲ぶこと出来るような、何か有益な事業をやるのではないかという声が大きくなってきました。

そして 1952 年、東京RCの古沢丈作会長が「米山基金」の構想を発表しました。これは、アジアから優秀な学生を招いて学費を援助し、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために“平和日本”を肌で感じてもらいたい、というものでした。

こうして、東京RCが始めた「米山基金」はわずか5年で、日本の全ロータリークラブの共同事業として継承され、1967 年には財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。

米山記念奨学会は、外国人留学生を対象とする民間の奨学金では国内最大規模です。

2019 学年度は日本全国で 868 人が採用され、現在、各ロータリークラブでお世話をいただいています。累計では世界 129 の国と地域から 21023 人を支援しています。

2660 地区におきましては、本年度は 53 名の奨学生を迎え入れる事が出来、奨学生の受け入れを希望されるすべてのクラブに配属が出来る体制に一步近づいたのではないかと思います。

さて、2019 年度の当地区の寄附目標ですが、PETS・地区協議会等において四宮ガバナーがガバナー方針に示されておられますように、本年度も一人当たり 30000 円(普通寄付 5000 円、特別寄付 25000 円)のご寄付をお願いいたしております。ロータリアンの皆様から頂くご寄付が一人でも多くの奨学生を迎え入れる原資となっております。

これからの世界情勢では、国と国との懸け橋となるような、優秀な人材が果たす役割はいつそう大きくなり、米山記念奨学事業の重要性は、さらに増していくことは間違いありません。

これまで日本のロータリアンが蒔いてきた「平和の種」を、今後も絶やすことなく、大きな花を咲かせ続けていくこと、それが我々ロータリアンの使命であると思います。

10月の米山月間におきまして、国際人材育成事業としての米山記念奨学事業の素晴らしさを改めてこの機会に再認識をお願い申し上げ、更なるご理解・ご協力をお願い申し上げます。

### 大阪心斎橋RC 大阪船場RC合同ゴルフコンペ

2019年10月23日(水)

於:太子カントリー倶楽部

10月23日(水)、太子カントリー倶楽部にて、当クラブと心斎橋RCとの合同ゴルフコンペが開催されました。総勢13名、当クラブからは塩尻会長、甚田幹事、澤田会員、松谷会員、私の5名と参加人数が少し寂しかったですが、汗ばむくらいの好天に恵まれ、皆さん、和気藹々と交流を深めながらゴルフを楽しみました。優勝は、心斎橋RCの近藤様で、松谷会員が惜しくも準優勝でした。他の4名は残念ながら下位を独占してしまいましたが、成績はともあれ、親睦の実を上げた楽しい1日でした。

親睦委員長 山川 良知

順位	競技者名	アウト	イン	GROSS	HDCP	NET
優勝	近藤 佑介	55	41	96	23.7	72.3
準優勝	松谷 廣信	44	42	86	13.0	73.0
3位	西宮 祥行	53	43	96	22.5	73.5
4位	小笠原 宣男	56	52	108	34.3	73.7
5位	赤座 秀洋	51	51	102	27.2	74.8



☆次回11月18日(月)例会予定

・委員会卓話:ロータリー財団

・職場見学&懇親会